

農業と観光との連携による農業人材創出に関する連携協定の概要

令和5年3月22日
農 林 水 産 部

- 本県では、令和5年度から、農業労働力不足の解消と、農を起点とした交流人口の拡大等を目的とした「元気な農業人材確保プロジェクト」の展開を予定しており、山形県、JA全農山形及びJTBの相互連携と協働による三者協定を締結し、プロジェクトの推進体制を強化する。

連携協定の概要

三者連携協定の枠組み



- 締結予定日
令和5年3月22日(水)
- 協定期間
令和9年3月31日まで
(延長の可能性あり)

○ 協定の趣旨・目的

農業人材の確保をはじめとする本県農業の課題の解決及び農を起点とした関係人口の創出のための連携強化を図るもの。

○ 主な協定項目

- ・首都圏等からの農業に関心のある企業、人材の**本県への呼び込み**
- ・農作業委託のニーズ把握と多様な人材との農作業受委託の調整
- ・首都圏の人材等と**県内の農業・他産業との交流促進**
- ・県産農産物等の地域資源やイベント情報の広報誌、SNS等による周知
- ・農作業体験や農業者等と交流する旅行商品造成

など

農を起点として人材を呼び込む新たなツール

アグリワーケーション

企業・社員 ～ 社員のワーケーションの合間に農作業に従事～



ニーズ

- ・CSR,SDGs,健康経営等で地方と連携
- ・社員教育による人材育成
- ・異業種交流でのビジネスチャンス開拓
- ・自由で多様な働き方の実現

メリット

- 農業を通じた地域貢献によるCSRの実現
- 現場感覚や新たな視点を持つ人材の育成
- 従業員の心身のリフレッシュ、生産性の向上、健康経営の実現

アグリキャンプ

部活・企業のスポーツチーム ～ 合宿のついでに農作業に従事～



ニーズ

- ・合宿を通じたチームビルディング
- ・合宿費用、活動費の確保
- ・合宿先でしかできない経験

メリット

- 空き時間の農業従事で活動費の獲得
- 農作業体験を通じたチームワーク醸成

アグリツアー

観光客 ～ 旅行メニューとして農作業を体験～



ニーズ

- ・山形の魅力を感じられる旅行
- ・農業、農村暮らし体験への憧れ
- ・より充実した旅行、満足感

メリット

- 旅行+ついでに農業従事で賃金を獲得
- 旅先でしか得られない体験や交流

協定締結による具体的な取組み

農作業受委託モデルの構築



県内外の異業種交流機会の提供

- ・農や食、SDGs等をテーマにした県内企業との交流会の開催
- ・「スタートアップステーション・ジョージ山形」を活用した異業種交流の創出や、コワーキングスペースの提供

やまがた暮らし・農村暮らし体験

農作業体験+農村や地域の魅力を体感できる交流イベントの開催

期待される効果

○ 多様な人材の活用による、**自走できる農作業受委託モデルの実証・構築**

○ 農を起点とした **関係人口の増加**

関係人口の増加により

- 企業の農業分野への新規参入
- 若者などの新規就農の増加

波及効果

- ・異業種交流による企業活動の活性化、ビジネスチャンス創出
- ・関係人口やリピーター観光客の増加による山形ファンの形成
- ・交流人口の拡大による農村集落の活性化

主な役割

- JA全農山形**
- ・県内農家の作業委託ニーズ取りまとめ
 - ・農家との作業内容調整

- JTB**
- ・首都圏等から多様な働き手を呼び込み
 - ・労働者を雇用、作業チームを編成し農作業を受託

- 山形県**
- ・プロジェクトの推進、調整
 - ・多様な人材と他産業等との交流の場の提供

目標

- **農作業受委託の参加延べ人数**
(R4実績) 2,141人日 → (R5) 3,000人日 → (R6) 5,000人日 → (R7) 7,000人日 → (R8) **10,000人日**